

発達障害のある人の キャリアアップ創出プロジェクト

第8回

2018/11/17

1. オリエンテーション
2. 前回の振り返り
3. 「適切な表現について」
4. 「適切な表現について」
5. 「そもそも力(クリティカルシンキング)を身に着ける」
6. 次回の案内、その他

4. 「そもそも力(クリティカルシンキング)を身に着ける」

クリティカルシンキングって？

2020年にビジネス上で求められるスキル

- 1位 複雑な問題解決能力
- 2位 **クリティカル・シンキング**
- 3位 創造力

AI時代に必要な思考法

「論点を立てる力」= 課題設定能力

現状から課題を見出し、現状を分析したうえで、
解決の仮説を立て、検証し、実行する

ロジカル
シンキング

物事を筋道立てて、
要素に分解して考えること

クリティカル
シンキング

本当にその前提が正しいのか
検証したうえで本質を見極めること

クリティカルに考えてロジカルに説明する

ロジカル
シンキング

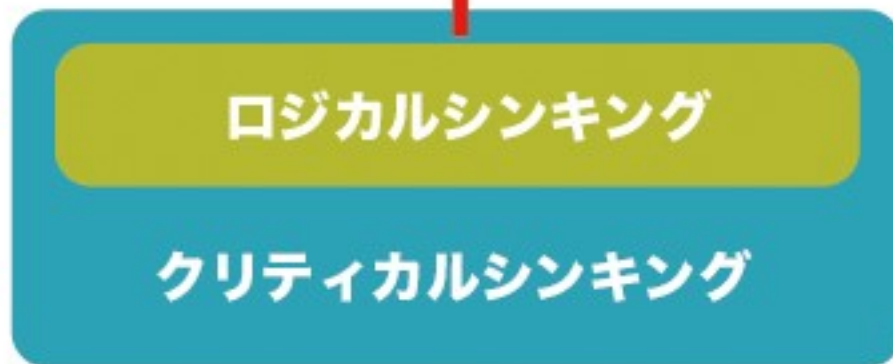
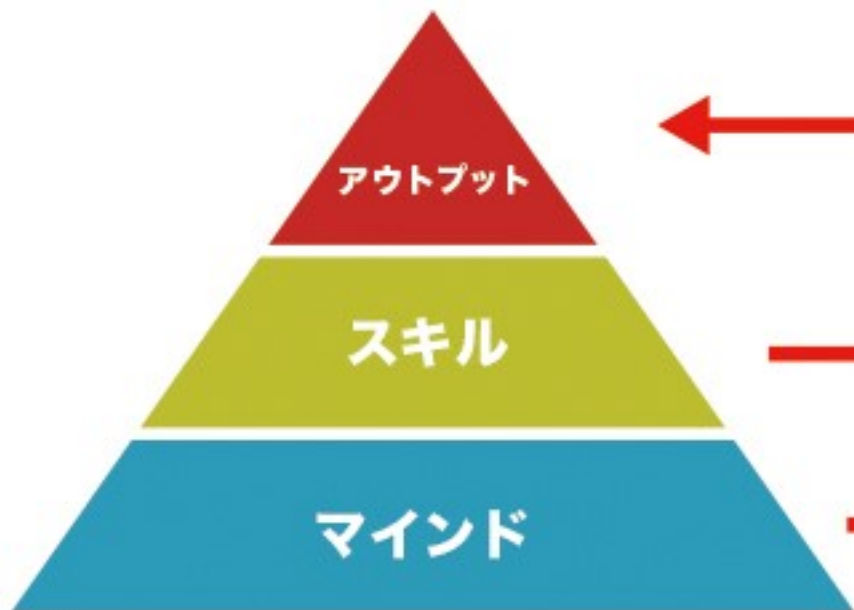
クリティカル
シンキング

「ツール」

物事に筋を通らせるための技術

「マインドセット」

頭の中を整理せず、リラックスせず、
というような状態の時に
反射的に起こってしまう思考の癖



| | ロジカル・シンキング | クリティカル・シンキング |
|-----------|----------------|---------------------|
| 意味 | 論理的思考 | 批判的思考 |
| 物事や事象の扱い方 | 整理・分析する | 客観的に見つめ直す |
| プロセス | 筋道を立てて、結論を導き出す | 疑問を持ち、検証しつつ、結論を導き出す |
| ポイント | 順を追って考える | 多方面から捉えて考える |

クリティカル・シンキングとは、
あらゆる物事の問題を特定して、
適切に分析することによって
最適解に辿り着くための思考方法

課題解決

鵜呑みにせずに疑問を持つ

単に否定したり反対したりするという考え方ではなく、見聞きしたことを鵜呑みにせずに客観的な視点に立って、物事や事象が「本当に正しいのか」と疑問を持って検証していく思考法

発達障害のある人は・・・
情報に対して疑わない傾向が強い

情報に対して「疑う習慣」を身に着ける

クリティカルシンキングの第一歩は、
どんなことに対しても、
常に疑問を持つことである。

- 疑う(どうして? 本当?)
- 本質を考える
- 発信者の心理を読み解く

クリティカルシンキングのガイドライン

- 問いをたてる
- 問題を定義する
- 根拠を検討する
- バイアスや前提を分析する
- 感情的な推論を避ける
- 過度の単純化はしない
- 他の解釈を考慮する
- 不確実さに堪える

(Wade)

クリティカルシンキングを行うことで、

物事を表面だけで判断しない、

物事を多面的に、より深層段階に深く掘り下げる、

習慣をつける

クリティカルシンキングを実践するための

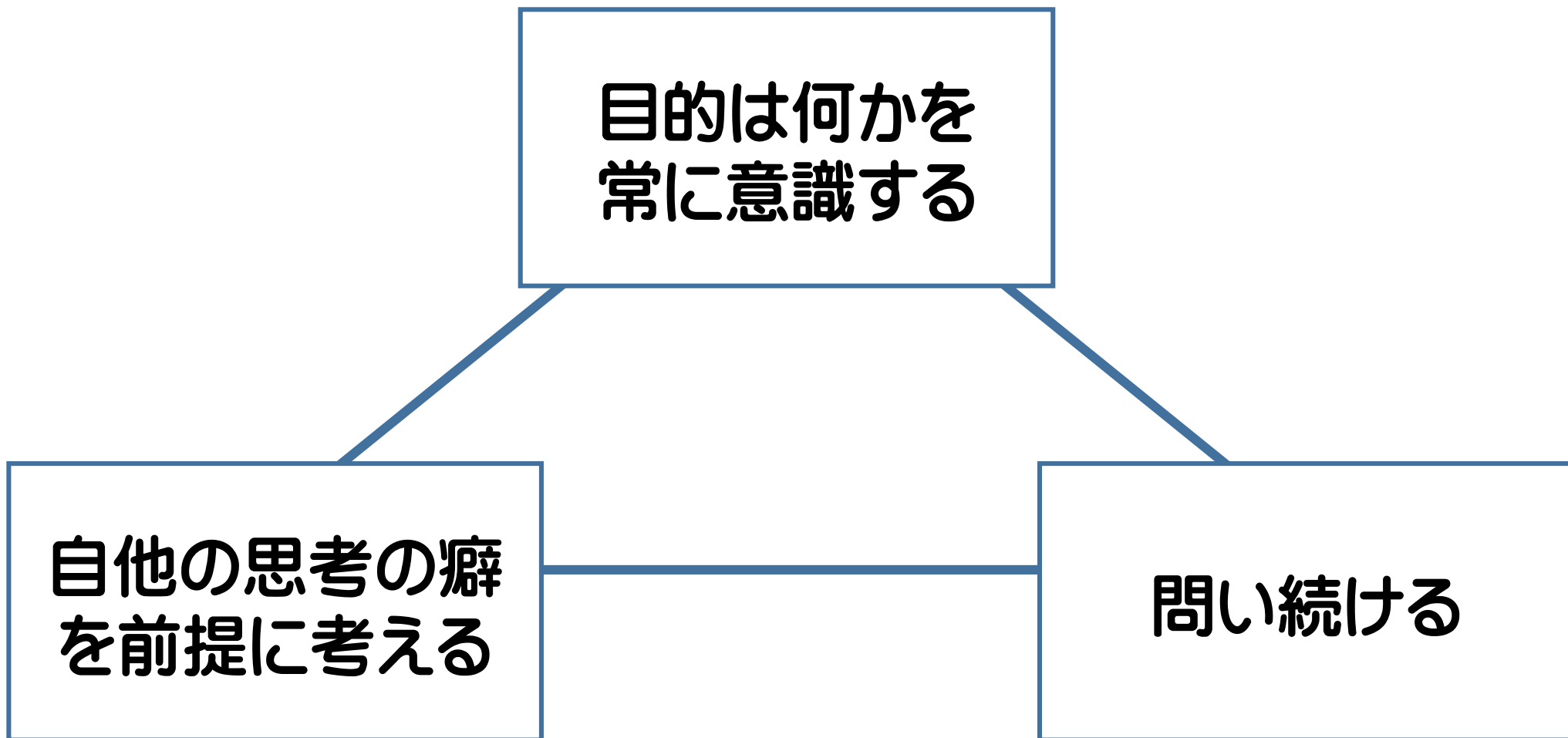
3つの基本的な姿勢を学ぶ

基本となる3つの姿勢

目的は何かを
常に意識する

自他の思考の癖
を前提に考える

問い続ける



～目的は何かを常に意識する～

議論していると、何のために話し合っているのか忘れがちになることはよくあります。

目的は見失うものであると認識しながら、常に目的は見える(わかる)ところにおいて、
「そもそも何のために・・・」と、考えを進める時に常に目的という原点に立ち戻ってみる考える習慣を身につけましよう

～自他の思考の癖を前提に考える～

人は大なり小なり思考の癖や偏りがあります。
そこをお互い認識しておかなければ、議論がかみ合わない
だけでなく、ゴールにたどり着くことができません

人にはそれぞれ思い込みや偏見、大事にしている価値観、
暗黙のルールなどがあるものだと認識したうえで、それに
囚われずに「この考え方でいいのか」「別の視点はないか」
と客観的に把握するようにします。

そして、お互いの違いを受け止めながら建設的に議論して
いきましょう

～問い続ける～

ある程度の道筋が見えたり、結論めいたものが出ると思考を止めてしまうことがよくあります。

疑問がなくなるまで問い続けて思考停止にならないよう、問題の本質は何かを問い続けることを習慣化することが大切です。

これは考えるため(情報整理する)の論理的思考のフレームワークを学ぶことが早道です。



次回の「ロジカルシンキング」で詳しく説明します

論理的思考が苦手な人の傾向

- 何が言いたいのか？と言われることが多い
- 話があちこちに飛躍する
- 段取りをするのが苦手
- 頑張っていれば到達すると思っている
- 人に聞かない
- 一方的に話し人の話を聞かない
- 理由のある回答ができない
- ものごとを感情でとらえやすい
- 考えがまとまらず混乱することが多い
- 好意をおせっかいに取られることが多い

発達障害の
ある人に
ありがち？

構造化「3つのメリット」

- 全体が把握できるため、漏れやダブリを回避しやすい
- 要素間の関係が明らかなので、修正や問題解決の際に的確な対処ができる
- 情報共有しやすい

「何が言いたかったの？」と言われなかったために」

目的は何かを
常に意識する

基本姿勢

自他の思考の癖
を前提に考える

問い続ける

論理的思考法も必要

自分の思考の癖を考える

バーズの「認知のゆがみ」

1. 全か無か思考 <All or Nothing thinking>
2. 一般化しすぎる <Overgeneralization>
3. 心のフィルター <Mental Filter>
4. マイナス化思考 <Disqualifying the Positive>
5. 結論の飛躍 <Jumping to Conclusions>
6. 心の読みすぎ (Mind Reading)
7. 先読みの誤り (The fortune teller error)
8. 拡大解釈と過小評価 (Magnification and Minimization)
9. 感情的決めつけ (Emotional Reasoning)
10. すべき思考 (Should Statements)
11. レッテル貼り (Labeling and Mislabeled)
12. 個人化 (Personalization)

- | | |
|------------|---|
| ① 全か無か思考 | 白でなければ黒でしかない |
| ② 一般化のしすぎ | 「いつも…」とか「決して…」という考え方、ものの言い方をする。 |
| ③ 心のフィルター | たったひとつの些細な欠点だけを捉えて、他の事柄を全て無視してしまう。 |
| ④ マイナス化思考 | 成功や喜びの価値を割り引いてしまう。 |
| ⑤ 結論の飛躍 | 具体的な根拠もないまま、勝手に結論を急ぎ、物事を否定的に考えてしまう。 |
| ⑥ 誇大視と過小評価 | 自分の抱える問題や短所を必要以上に大袈裟に考え、自分の能力や長所を低く見積もること。 |
| ⑦ 感情的決めつけ | 「嫌なものは嫌」「ダメなものはダメ」 |
| ⑧ すべき思考 | 「…すべきである」「…しなければならない」「…するのが当然である」というものの考え方や言動をする。 |
| ⑨ レッテル貼り | 自分で勝手に物事を決めてしまう。 |
| ⑩ 自己関連づけ | 「悪いのは自分だ」と、直接自分には関係のないことにまで責任を感じ、自分を責めてしまう。 |

ワーク

自分の思考の癖を日常生活や仕事の場面での例に

とって言葉にしてみる

具体的な対処方法を考える

参考資料) クリティカルシンキングができる人の12の特徴

- 相手が伝えたいことを明確に理解できる
- 結論と課題を分けて、頭の中を整理できる
- 全体を俯瞰(ふかん)してものごとを判断できる
- 根拠をさがしつつ、明確にできる
- 十分に情報を得ようとしている
- 他の選択肢を探す
- 置かれている状況の中で、できる限り正確にこなす
- 反省できる
- 偏見でものごとを見ない
- 証拠と理由がたりないときは、ジャッジを保留する
- 証拠と理由がそろったら、行動する
- 周囲の人の意見も取り入れる

出典 : Ennis, 1991, Critical Thinking: A Streamlined Conception, in Teaching Philosophy 14:1, March

1年間のまとめを最終講義(1月)にするためのプレゼン資料を作成する

最終回(1月18日)に「一年間のまとめ」を発表していただきます。

次回のワークでは、「学びになったこと」「印象に残ったこと」「仕事に活かされたもの・活かそうとしたが上手くいかなかったこと・今後活かしたいこと」等、整理する時間にしたいと思います。

<プレゼン資料作成に向けて>

ゼロ期生および一期生の方で作成したことがない方がおられました。サポートすることで全員が実施することができました。

- ・ 昨年の発表資料を次回に紹介します
- ・ 個別相談およびサポートを行います
- ・ 作成のお手伝いもします

1. オリエンテーション

2. 前回の振り返り

3. 「障害者採用について」

ジョブサポートパワー(株)代表取締役 小川慶幸氏

4. ロジカルシンキング入門と簡単ワーク ~1年間の まとめをフレームワークで言語化する~

5. 次回の案内、その他